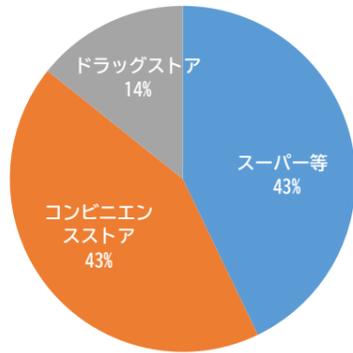
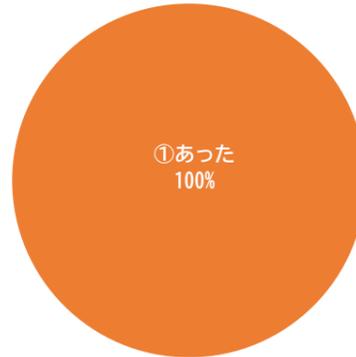


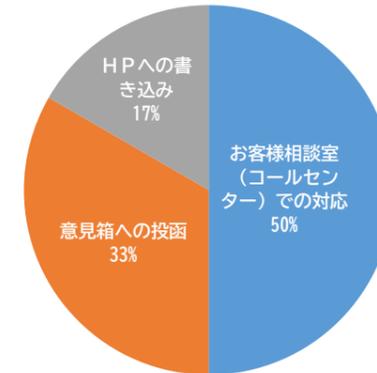
回答事業者の業態形態



合理的配慮の申し出の有無



意見を集める仕組みの内容



（問2 関連）合理的配慮の申し出の内容と対応状況

申し出内容	対応状況
視覚障害で買い物が負担なので手伝ってほしい	一緒にお買い物に付き添う。
車いすでの買い物が負担なので手伝ってほしい	購入商品を事前にうかがい、駐車場で商品の受け渡しなどを行う。
聴覚障害者への買い物支援	筆談による買い物支援を実施
障害のある方への買い物支援	出来る範囲でお手伝いするが、混雑時やシフト的に厳しい場合は、その旨を説明し対応する。
障害のある方への買い物支援	従業員を呼んでもらい、商品を取る等して対応
棚の上段にある商品が取れないので、取ってほしい	介助して対応
会計時にお金を出すことが困難なので、出すのを手伝ってほしい	本人の了承のもと、財布を預かり、介助対応
	店舗レジ前でのPOP告知等で案内などを実施

（問3 関連）合理的配慮に関する取組事例

取組事例
利用者からの申し出があればほぼ希望通り対応が可能
障害者の運転する車を優先的に駐車できる思いやり駐車場の設置
病院内の店舗では、通路幅や棚の高さ等を路面店舗に比べて使いやすい設計としている。
思いやり駐車区画を数台用意している。
セルフレジの画面デザインの簡素化や音声案内の導入
マルチメディア端末でのユニバーサルデザイン採用
盲導犬、介助犬、聴導犬同伴での買い物受入など
聴覚に障害のある社員の意見を参考に、レジカウンターに「耳マーク」を表示した指差しシートを設置し、レジ袋やレンジ温めなどを指差し確認できるようにした

（問3 関連）合理的配慮に関して悩んでいること

悩んでいること
弊社からのアプローチは、従業員の個人差が出てしまい、対応に差が出てしまっている。
全ての人に、安全・安心に買い物いただくための店舗経営は、従業員への教育含めて日々苦労している。
どこまで対応すれば良いか、現場で判断が難しい時がある。
思いやり駐車区画を設置し、カラーコーンで区画を表示しているが、強風で車にぶつかり破損したり、通行の邪魔になってしまう場合があるため、今後、改装等のタイミングでアスファルトにデザインしようか悩んでいる。
思いやり駐車区画がタイミングで不足する場合がある。
見た目では障害があるか分からない方が駐車していることもあり、判断が難しく、苦言をいただくことも多い。
障害者ということで、店舗入口の軒下に無理矢理、車を駐車されてしまうことがある。
障害者手帳等を印籠のように掲示され、お待ちいただくよう注意しても聞き入れられないケースがある。